

創刊にあたって・

他共楽の

は

創刊号では、 自然と多くの人が集まり、少林寺拳法は世界に広まっていきました。その少林寺拳法を主行としているのが金剛禅です。 拳に自信がある、法も説ける、そして迷わず他人の幸せを考えて行動できる――そうした自信と勇気と行動力に満ちた人の周りに、 浦田武尚金剛禅総本山少林寺代表に、改めて金剛禅のあり方とこの広報誌の役割について、話を聞きました。『『『まだけで』

ますます必要とされる金剛禅今は心の時代、

禅の主張です。 すべては人の質にある」と悟った開 世界平和につながる、というのが金剛 る人を一人でも多く増やすことこそ、 きました。自他共楽の生き方を実践す うな社会をつくりたい、とこの道を開 据えたらよいか、日夜悩み考え抜いた 祖・宗道臣が、人づくりの根幹に何を 開祖は、合掌礼一つで助け合えるよ 編み出したのが、金剛禅、です。 戦時の体験から、「人、人、人、人、

りと自信を持って布教活動に邁進して いただけるよう、このたび、広報誌を 力されている道院長の方々に、より誇 その金剛禅運動の第一線で、 日々尽

> うという教えです。 はありません。拳禅一如の修行を積 発行することにしました。 立し、半ばは他の役に立つ人間になろ み、真によりどころとできる自己を確 を執り行うだけの形骸化された宗教で よる救いを説く怪しげな団体や、儀式 金剛禅は、迷信で脅し、加持祈祷に

りきれない孤独感が現れているように すといった恐ろしい事件に、人々のや や不安は増しているように感じられま 豊かになりました。しかし、便利な生 す。無差別殺人や親が子を子が親を殺 活になる反面、人々の心に巣くう孤独 日本は高度成長期を経て経済的には

> ではないでしょうか。 はますます高まっている、といえるの 代にシフトした現在、 物や経済ではなく、ハンドルを心の時 思います。現代社会のキーワードが、 金剛禅の必要性

せるための、一つの施策です。 この広報誌は、金剛禅運動を充実さ

えればと願っています。 ニケーションツールとしての役割も担 お互いに刺激を受けるような、コミュ すので、それを読んだ他道院や拳士が す。また、投稿のコーナーもございま るような誌面作りを心掛けてまいりま とすることで、金剛禅の理解者が増え こと、誰が読んでもわかりやすい内容 え、情報を共有することはもちろんの 道院長・拳士へ組織方針を正確に伝

さらに充実させていく考えです。 布数10部からスタートですが、 隔月発行、8ページ、各道院への配



担当/山下真由美

の道普及の基本 道院は

ています。天と地、陰と陽、男と女、 立する二つのものが相和して成り立っ るように、世の中すべての現象は、対 した。金剛神が二体そろって意味があ 誌のタイトルは「あ・うん」といたしま べて一方だけでは存在しえません。 プラスとマイナスといったように、す それは、道院における修行のあり方 金剛神(仁王尊)の「阿吽」から、広報

> 運営してきた自負がありますが、もち 剛禅へ転換させていくかが、真骨頂な ろんそこには技法だけではありません でも同じで、拳と禅は切り離せません。 でした。鍛えた拳で人を集め、どう金 私自身、少林寺拳法の技法で道院を

分を高めるだけの教えではなく、指導 それというのも、金剛禅は、単に自



者を育てる道だからです。

す。日本が戦争に負け、誰もが自信を といわれるゆえんは、ここにありま 祖がつくったのは、指導者を育てるシ 言ったのは開祖だけでした。 なくしていたとき、「指導者になれ」と ステムでした。開祖の教えが画期的だ 子と共に切磋琢磨し向上し続ける。開 インに立っています。そして、師も弟 ときから、指導者としてのスタートラ 拳士は皆、正師につき弟子となった

とが、少林寺拳法が発展してきた一番 の理由だと私は思っています。 多くの若者の使命感に火をつけたこ

及の基本なのです。 修行と布教の場です。道院はこの道普 ため社会のために役立てるかを問う、 己研鑽だけでなく、どうその力を人の 林寺拳法を教えながら、道を説き、自 そして、道院は、宗門の行として少

ました。限られた公共施設の中で、時 という場を持つことの必要性を痛感し るところに道院の意義があると思いま に話し合うこともできる。これができ あれば、社会にどう貢献するかを真剣 できる、道院長の体験談を話すことも 理してでも、専有道場を建てたのです。 かった。ですから、26歳のときに、無 えられない……そのことがとてもつら 技術を教えられても、開祖の教えが伝 間を気にしながらでは、少林寺拳法の 幹部を残してお茶を飲みながら話が 私も指導者となってから、「道院」

> とができます。 く、開祖の教えをそのままに伝えるこ す。道院では、何に縛られることな

間になることを、開祖はこだわってき 労があったから今がある。人々に宗教 たはずです。 なりません。はっきりと主張できる人 解してもらうための努力をしなければ 不信があるならば、私たちは正しく理 た結果、現在があるのです。先人の苦 理解と信頼を得られる行動を続けてき ませんでした。「喧嘩の仕方を教えて 簡単に、公共施設を借りることはでき くなりました。しかし、かつてはそう 共施設使用を断られることは、まずな いる」という偏見に、説明を繰り返し、 少林寺拳法が市民権を得た現在、公

願っています。 和で物心ともに豊かな社会を心から どう広めていくかということです。平 常に私の念頭にあるのは、金剛禅を

と言い切れたのです。 た。だから、我にあたらず我関せず きかと考え、信念に従って行動してき ではなく、常に日本国はどうあるべ 言葉です。勝は、徳川幕府や明治政府 に大政奉還させ、明治政府の役職につ 福沢諭吉から、幕臣でありながら主君 張、我関せず」。これは、勝海舟が、 いたと批判されたことに対して言った 「行蔵は己に存す、毀誉は他人の主

私の夢は、 金剛禅を世界に広めるこ

あなたにできること わたしが

2008年度講習会

300人が参集した。 うテーマで2008年度講習会 禅総本山少林寺にて「行、 を開催した。初段以上の拳士 があなたにできること」とい 9月13~15日の3日間、 わた 金剛

ことにより、 再会しよう!」と呼びかけられ、 盛会な講習会となった。 気ある場が創出された。 言や意見交換が活発になり、 修練や班別討議などに取り組む 同士で6名一班を編成し、技術 は技法の深奥を味わっていただ 的な技法講習を行い、受講者に を特徴とする技法の原則を確認 には多くの受講者から「来年も いた。年齢・段位の近い受講生 た。また圧法、整法では、基礎 各種法形へ発展させていっ 術修練では、 自然とお互いの助 「守主攻従 最終日 活

飯野貴嗣

僧階補任講習

行の仕 たなス タート E げと !

導師)後期」を開催した。 寺で「僧階補任講習(中導師・大 9月15日、 金剛禅総本山少林



要を題材として、一つ一つのプ 居振る舞いの実習を、達磨祭法 おける導師としての正しい立ち 行や易筋行の意義の確認と実 ための教学、修練時に行う鎮魂 教や門信徒の帰属意識を高める グラムを消化していった。 受講者数は28名。 また道院で挙行する式典に 金剛禅の布

挨拶が贈られた。受講者の真摯の新たなスタートです」と激励の の誓いがうかがえた。 な姿からは、 辞令が授与され、「これからが 総本山少林寺宗務局長から僧階 閉会式では、 後進への正しい教化育成 自らの修行の再認 田村明 金剛禅

飯野貴嗣

天童長岡道院

夏合宿は盛りだくさん

まず8月度の新入門者1名の入 泊2日の日程で開催された。 恒例の夏合宿が8月2日から

> 頂き、 魂行で一日のスタート。一晩寝 拳士によるカレー作りは保護者 だ。また、 ドゴルフ……目いっぱい楽しん ぐそばの河川敷で素潜り、 書」の一部を鑑賞し、 後は道場内での宿泊。翌朝は鎮 を楽しみ、保護者の方が帰った いしく頂いた。日が沈み花火 の方の協力を得て無事成功、 まえ。そして西瓜割りとグラン 輩が後輩の面倒を見る実践とし 後からはレクリエーション。 門式が厳かに挙行された。その かせたとてもおいしいカレーを てグループ分けをし、道場のす に移り午前の部を終了した。 「同じ釜の飯を食べる」とい DVD少林寺拳法「解体新 お昼まで川遊びを満喫し 今回初企画の小学生 全体稽古 魚捕 お

うことが少なくなった今、 仲間

同士の連帯を確認するいい合宿 ができた。

三重桑名道院

ホームの雰囲気に溶け込んでい ちびっ子拳士たちは の緊張した面持ちをよそ目に、 戸惑い気味でしたが、 体験ということもあり、当初は きました。 た。拳士・保護者35人全員が初 ては初めて、特別養護老人ホー ム「すいせんの里」を訪問しまし 8月21日、三重桑名道院とし いち早く 大人たち

渦に巻き込まれ、 ンを行いました。2チームに分 足を伸ばしたり、生き生きとし 子供たちに触発されて自然に手 そうとしないお年寄りたちも、 ました。ホームの園長さんから なって楽しいひとときを過ごせ 年寄りたちは 上がり、ジェスチャークイズで かれてのボール回し競争で盛り 交じっての合同レクリエーショ て、子供たちがお年寄りの中に な少林寺拳法の説明などを経 初めに全員で団体演練を行 今までに見たことのない喜 子供たちの迫真の演技にお 「ふだんは自ら身体を動か 組演武、 技の紹介、 一喜一憂、 皆が一つに 笑いの 簡単

お年寄りにパワーを! 海鋒雅之) 岩見沢北道院

演武を提供 りつの「くすり」

脳年齢、 した。 剣に取り組みました。 む組演武を見てもらい、 と講演の合間に基本や団体を含 くっていました。私たちは講演 測定やAED体験に長い列をつ 年寄りの方々が参加し、 貢献を目的に、演武を披露しま チング~」と題した健康祭り 神経外科主催、脳卒中をティ 見沢北道院は、 行われました。そこで私たち岩 「くすり」にしていただこうと真 9月6日、 ・ル赤レンガにて「岩見沢脳 日々健康を願う大勢のお 肥満度、 布教活動と地 体脂肪などの 身心の ÍП 圧 が

慰問となりました。 も貴重な体験となり、 を!」でしたが、我々にとって いたします」と感謝されました。 ございました。ぜひまたお願い びようでした。大変ありがとう テーマは「お年寄りにパワー (廣田芳幸) 有意義な

たと感謝しています。 たなる自信と勇気を与えてくれ す。この体験は、 うというものに変わったようで していた雰囲気が一気に楽しも 勢の方から拍手をもらい、 岩見沢市イベント 拳士全員に 結果、 (秦克則 投稿大募集 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-17-5 東京別院 広報誌担当宛 TEL.03-5961-1400 FAX.03-5961-1401

法を問い 学を修める vol.1

文/須田 剛

朝早く本山を訪れ、

ある職員

1

開祖は、

鎮魂、

易筋の二つに凝縮さ 人間形成の修行法

自ら求めて魂を鎮める 行をなすもの

に面会を求めたときのことである。就業開始にはまだかなり間る。就業開始にはまだかなり間は、「今、鎮魂行をしておりまは、「今、鎮魂行をしております」というものであった。私は、少し驚き、少し感動した。鎮少し驚き、少し感動した。鎮かれる一連の儀式と思われがちであったから。そして、専従職員と呼ばれるように、彼らは、組機能を維持するため、膨大な事務を、仕事としてこなす人だと何とはなしに思っていたからと何とはなしに思っていたからと何とはなしに思っていたからと何とはなしに思っていたから

少林寺拳法の修練も、金剛禅 にかかわる儀式執行や教学も、 彼ら職員にとって仕事であり、 一方道院で修行する私たちに とっては、生活の糧を得る仕事 のほかに、求めて時間をつくら なければできない修行である。 ちょっと違うようにも思えたか らである。「仕事」としてではな く、求めて行う修行法としての 鎮魂行。それを、黙々と行う本 山の専従職員に山門のうちで修 行する同門としての共感を覚え たのである。

> 的に行う行法として。 せ、在家者の修行法をつくり上 さむ鎮魂行は、内を修める積極 含む鎮魂行は、内を修める積極 のな修行法と位置づけられてい る。何かのついででも、形だけ やるものでもなく、自ら求めて やるものでもなく、自ら求めて がる。心を高めるために、積極

思いやり、行動することができ を、私は素直に認める。 事な修行法といえば、開祖は笑 の段階であり、立場がまた人を る。道院長になることは、修行 微力ながら伝道する立場を得る 道を求める人々の場を維持し、 教えを、深め、伝える道を今私 り上げたこの修行法と金剛禅の して、自分の成長があったこと れて、それに誠実に応えようと 称されるこの道の同志より問わ われるであろうか。「弟子」と つくるという現実に根ざした見 たちは歩んでいる。道院という ことによって、具体的に他人を 突き詰めて、突き詰めてつく

とを願わずにはいられない。深める修行の場の一つであるこか。この誌面がそれらのことをある修行の場の一つであることをいる。

開祖語録 ダイジェスト

1977 年度 第1次指導者講習会より

から人間を尊重し、 さんを祀ってあります。 の運動に最初の一歩を踏み出し をその行と定めて、青少年育成 ち方によって世の中を変えてい 拝み合いの中で、人間の心の持 を持った人間としての自覚。だ 間本位なのです。ダーマの分霊 じゃないぞ。我々はあくまで人 律に基づいて、達磨さんと仁王 た。30年前のことです。 禅、幸福運動の主張です。 山少林寺を開創し、少林寺拳法 こうとする。これが我々の金剛 し、偶像を拝めと言ってるわけ 少林寺も宗教法人法という法 私はここ多度津の地に、総本 人間同士の

気をもって行動できる若者を一

人でも多く育てよう、それ以外

んな困難に遭遇しても自信と勇

痛感したからです。だから、どがりが弱いことを、身をもってりの違いと、日本人の横のつな

国東北部)で、

そして引き揚げ

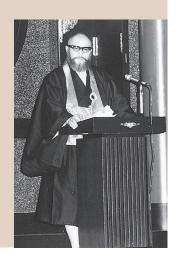
それは敗戦のときに満州(中

に行動に表れる人間の質のあまてきた日本で、いざというとき

す。
い職人はいらないのです。

技だけ

そんな職人はいらないしか知らない?



※この開祖語録中の「少林寺」は。金剛禅総本山少林寺を意味しています

展してきた。技だけしか知らな

少林寺は、この思想ゆえに発

れば、一人の力の数倍、

いや数

十倍の力を発揮できる。

えた。そんな若者たちが団結すに日本をよくする道はないと考

2008年6月度 認証

●新設

横浜中田道院 鳥田 博之 愛知吉良道院 加藤孝 福岡四王寺道院 松下 政見 大野城南道院 滝波 雅文 大阪箕面中部道院 川人正朋 福岡竜王道院 柴田 徹 信州宮田道院 鈴木 英仁 高槻南道院 横田 和典 鹿児島薩摩山崎道院 下野 幸夫 愛知今伊勢道院 江藤 康二 山口北道院 倍地 弘憲

●道院長交代 ・・・・・・・

釧路北道院 福田 文弘 大阪北道院 服部 弘 笙息道院 嶋田 弘人 千葉土気道院 冨野 博樹 大阪勝間道院 長谷川 奉行 山口大内道院 村岡 和德 小田原道院 山口 仁 福崎道院 生田 久人 鷲敷道院 大西 敏和 蒲郡道院 松下 芳文 姫路飾磨道院 濱野 恒司

僧階昇任者

少法師

一宮北道院

2008年9月15日

海鋒 雅之(天童長岡道院) 見﨑 俊次(三国湊道院) 柳川瀬 一美(四日市道院) 西尾 武(寝屋川道院) 鈴木 義勝(宇部常盤道院) 久保田 利幸(那珂川道院) 須田剛(愛知香久山道院) 今井健(西可児道院)

大導師

■2008年6月15日付

川島 一浩(本部道院)

高田 和典(海南黒江道院) 春日部 裕樹(四日市僧伽道院) 岩本 浩治(飯塚中部道院)

2008年9月15日付

松浦 哲也(岩手大学) 田島 星斗(大阪三島道院) 齊藤 敏也(札幌平和道院) 廣田 芳幸(三重桑名道院) 古嶋 賢幸(警視庁)

大和桜井道院

李 勇光(七飯中部道院)

中道師

塚本 隆二

2008年6月15日付

佐竹 浩志(小坂井道院) 西田 真人(和歌山孝子道院) 加藤 浩(経済産業省) 中島 良平(島原城南道院) 高山 久(引佐三ヶ日道院)

2008年6月22日付

倍地 弘憲(山口北道院) 島田 博之(横浜中田道院) 汀藤 康二(愛知今伊勢道院) 鈴木 英仁(信州宮田道院) 横田 和典(高槻南道院)

下野 幸夫(鹿児島薩摩山崎道院) 柴田 徹(福岡竜王道院)

滝波 雅文(大野城南道院) 服部 弘(大阪北道院)

嶋田 弘人(箕島道院)

奥田 眞弓

山口 仁(小田原道院) 生田 久人(福崎道院)

濱野 慎司(姫路飾磨道院)

塚本 隆二(一宮北道院)

長谷川 奉行(大阪勝間道院)

村岡 和德(山口大内道院)

冨野 博樹(千葉土気道院)

大西 敏和(鷲敷道院)

奥田 眞弓(大和桜井道院)

福田 文弘(釧路北道院)

2008年8月1日付

吉田 賢治(山科音羽道院) 小塚 美幸(名古屋畑田道院)

吉池 伸(三原道院) 武本 勉(姫路南道院)

遠藤 真二(湯の山道院) 安藤 雅敏(愛知尾西道院) 加藤 利彦(岡崎中部道院)

大西 一成(西宮甲武道院)

川瀬 敦士(埼玉毛呂山道院) 宮田 幸典(宮崎中部道院)

樫根 親晴(鹿児島北道院)

岡本 光弘(埼玉狭山南道院)

松田 和子(福岡大野城道院)

鈴木 治(栃木瑞穂道院)

安藤 邦男(大阪長吉道院)

■2008年9月15日付

田中 伸彦(伊予松前道院)

小穴 秀樹(熱田道院)

生熊 伸安(浜北東部道院)

加部 光三(仙台宮城野道院)

三原 海石(浜松中央道院)

名倉 利彦(引佐三ヶ日道院)

■2008年10月1日付

川畑 隆昭(愛媛しまなみ道院)

白井 章義(滋賀山東道院)

永田 博美(多治見青龍道院)

設楽 英樹(座間道院)

竹田 英一(福岡嘉麻道院)

お布施

▷岩倉道院、木曽川道院

10,000円

▷宇治岡谷道院 10,000円 10,000円 ▷阿知須道院

▷西宮今津道院、西宮津門道院

10.000円

▷千葉富来田道院 20.000円 ▷犬山北道院 10.000円

▷中津道院

▷江南道院 20.000円 ▷大牟田東道院、大牟田南道院、

大牟田西道院、大牟田新世道院

20,000円

▷三木道院 20.000円

▷神戸港島道院、六甲アイラン ド道院 30.000円 ▷中津東道院

10.000円 ▷金沢卯辰山道院、同道院拳士

20,000円

▷名古屋東道院 100,000円

▷東松山道院 50.000円 ▷熊谷西道院 30.000円

▷大分府内道院 20.000円 ▷大阪富木道院 30,000円

▷奈良西の京道院 10.000円 ▷石川野々市道院 10,000円

▷海老名東道院 10,000円 ▷呉郷原道院 10,000円

▷鯖江北野道院 10.000円

▷群馬前橋道院 100,000円

50,000円 ▷小田浩司

11月の本山行事

8~9日 道院長研修会1次 15~16日 道院長研修会2次 22~23日 道院長研修会3次

29~30日 道院長研修会 4次

24日 僧階補任講習(少法師)

12月の本山行事

13日 本山考試員・審判員研修会 14日 特別昇格考試(六段以上)

2009年新春法会のお知らせ

2009年1月11日(日)

10,000円

本山で行われる新年最初の行事。 一年の精進を誓い、元気に初稽古 を行います。ぜひご参加ください。





宗務局長 田村 明

に思い出します。

を、「再見」という言葉を聞く度

vol.1 一期一会

情風

と、「再」はもう一度、「見」は見 の心に感じられます。 中に「今日は楽しかったね」が私 す。「また会おうね」のひと言の には、この言葉が優しく響きま ことがなくても「再見」、私の心 れのとき、初めて会いもう会う うね」となります。人と会い別 いう意味なので、「もう一度会 ただし中国語の「見」は会うと る、続けると「もう一度見る」。 表現です。でもよく見てみる いつでもどこでも使われている ようなら」、普通の別れの挨拶 「再見」、これは中国語 言葉でいえば「また会お

の心に感じられます。 楽しかったからもう一度会い とたい、もう一度この喜びを共有 たい、もう一度この喜びを共有 たい、こんなことかもしれま せん。大好きな少林寺拳法での 本山講習会、地方武専での出会 い、感激、そのときにはいつも い、感激、そのときにはいつも な」と言葉をかけ合っていたの

「感動が少なくなってきてい「感動が少なくなってきています。でも新たな出会いが多ります。でも新たな出会いが多のではと思います。本山や各地のではと思います。本山や各地のではと思います。本山や各地のではと思います。

人に、様子を見に行かせた。

とりあえず黒帯の高校生一

一期一笑



イラスト/大原由軌子

自転車男

東京・高島平道院の少年部に所属するY君は、よくいえばものおじしないのだが、要はものおじしないのだが、要は初夏のある日、練習の後に皆でジュースなど飲んでいると、駅の高架下から声がした。「あ、Yだ。おおい、助けてくれよぉ」
「あ、Yだ。おおい、助けてくれよぉ」
には、Y君はペットボトル片手に、既に走り出していた。

の子の家まで一緒に自転車を

してしまった友人のために、そ

何とまあ、自転車の鍵をなく

くしちゃったんだって」自転車を担いでいる。「

きたのだが、何と友人と二人で

な

およそ1分後、Y君が戻って

持って帰ってやるというのだ。 も唱えている身でありながら、 も唱えている身でありながら、 さて、どれだけ実行に移せてい るだろうか。友達のために迷わ るだろうか。友達のために迷わ るだろうか。友達のために迷わ るだろうか。友達のために迷わ るだろうか。友達のために迷わ るだろうか。方達のために迷わ がしていた。(Mエルメス・50) がしていた。(Mエルメス・50)

File.1 宗務部宗務 2 課 (2008.10月現在)



郷るえ見迦森

私たち、宗務部宗務2課は、道院設立(交代)をはじめ、団体手続き(資格更新、勤続表彰、代務、修練場所変更など)を中心に、現場の最前線で頑張っておられる道院長の皆様の後方支援をさせていただいております。

設立から道院長の先生方と事務関係 のやり取りをさせていただいています ので、その道院が表彰されたり、人数 も増えますます発展している様子を知 ると、私たちも嬉しくなります。

事務局紹介 のコーナー

少しでも道院長の皆様が活動しやすい環境づくりを目指して、学び、与え、感謝する意識で日々の業務に取り組んでおります。どうぞわからないこは、お気軽にお問い合わせください。



宗門の行としての少林寺拳法

Rakan ken, Hangetsu kubi nage らかんけん はんげつくびなげ 羅漢拳 半月首投

攻者の直突に対し、守者は予島に入身する。同時に左手は半月受、掛手を腰に引き付け、腰の捻りで転回し、攻者を崩す。しばしば、手のひらを頸にあてがって巻きつける演武が見受けられる。正しくは、攻者の体の崩れが大きい場合は手刀打、不十分な場合は右腕刀打で頸骨を真下に巻き込むごとく打つ。

撮影/近森千展 文/飯野貴嗣 演武者/守者:川島一浩 正範士七段 攻者:飯野貴嗣 大拳士六段



表紙 金本孔俊

アラスカ州ホーマー・スピットにて。生命力を強く感じさせる白頭鷲、孤高の姿にシャッターを切る。 【プロフィール】1954(昭和29)年、兵庫県生まれ。 94(平成6)年からアラスカでオーロラを撮影し、ライフワークとして情熱を注ぐ。神戸六甲道院、正拳士四段。http://www.studio-gold.com 編集後記 ▶桜の開花とともに発足した広報誌編集委員会、「本山だより」のリニューアル、猛暑の夏を越え、勇躍創刊号の完成。▶開祖の教えは「人づくりの道」であり、現世に理想境建設を目的として、拳禅一如の修行を実践していく金剛禅運動である。▶「初心忘るべからず」、この言葉を肝に銘じて、今後の誌面充実に邁進したい。合掌 (あ)

発行人:浦田武尚 発行所:金剛禅総本山少林寺 〒764-8511 香川県仲多度郡多度津町本通3-1-48 ☎0877-33-1010 http://www.shorinjikempo.or.jp編集人:秋吉好美 企画・編集:金剛禅総本山少林寺東京別院 〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-17-5 ☎03-5961-1400 e-mail aun@shorinjikempo.or.jp金剛禅総本山少林寺広報誌「あ・うん」 2008年11月1日発行(奇数月発行)第1巻第1号 印刷・製本:㈱ブル・ドック

